

2023年5月11日

各位

会社名：インフロニア・ホールディングス株式会社  
代表者名：代表執行役社長 岐部 一誠  
(コード番号：5076 東証プライム市場)  
問合せ先：経営戦略部長 古川 建作  
TEL. 03-6380-8253

## グループエンゲージメントの醸成を目的とした 株式給付信託（J-ESOP）の導入に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、グループ全体の一体感の醸成を目的とすることに加え、当社の株価および業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及びグループ連結業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、一定の要件を満たした当社及び当社のグループ子会社の全従業員（以下、「従業員」といいます。）に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託（J-ESOP）」（以下「本制度」といい、本制度に関してみずほ信託銀行株式会社と締結する信託契約に基づいて設定される信託を「本信託」といいます。）を導入することにつき決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 導入の背景

当社は、『INFRONEER Medium-term Vision 2024 中期経営計画』を2021年10月1日に公表し、「どこまでも、インフラサービスの自由が広がる世界。」を実現することをビジョンとして掲げ、「あらゆるステークホルダーからの信頼獲得」を目指す姿として取り組んでおります。

ビジョンや目指す姿の実現に向けて、従業員が高い次元で挑戦し、その成果に報いる観点から、様々なインセンティブプランを検討してまいりましたが、今般、当社グループの状況を踏まえ、従業員に当社の株式を給付する本制度を導入することといたしました。

本制度の導入により、グループ共通の「モノ」であり、グループの企業価値を反映する「インフロニア・ホールディングス株式」を媒介として求心力を高め、グループの一員であるという意識、具体的には「グループへの愛着・親近感」、「経営への関心」、「株式市場への興味」、「グループ利益への意識」を向上させることを目的としております。

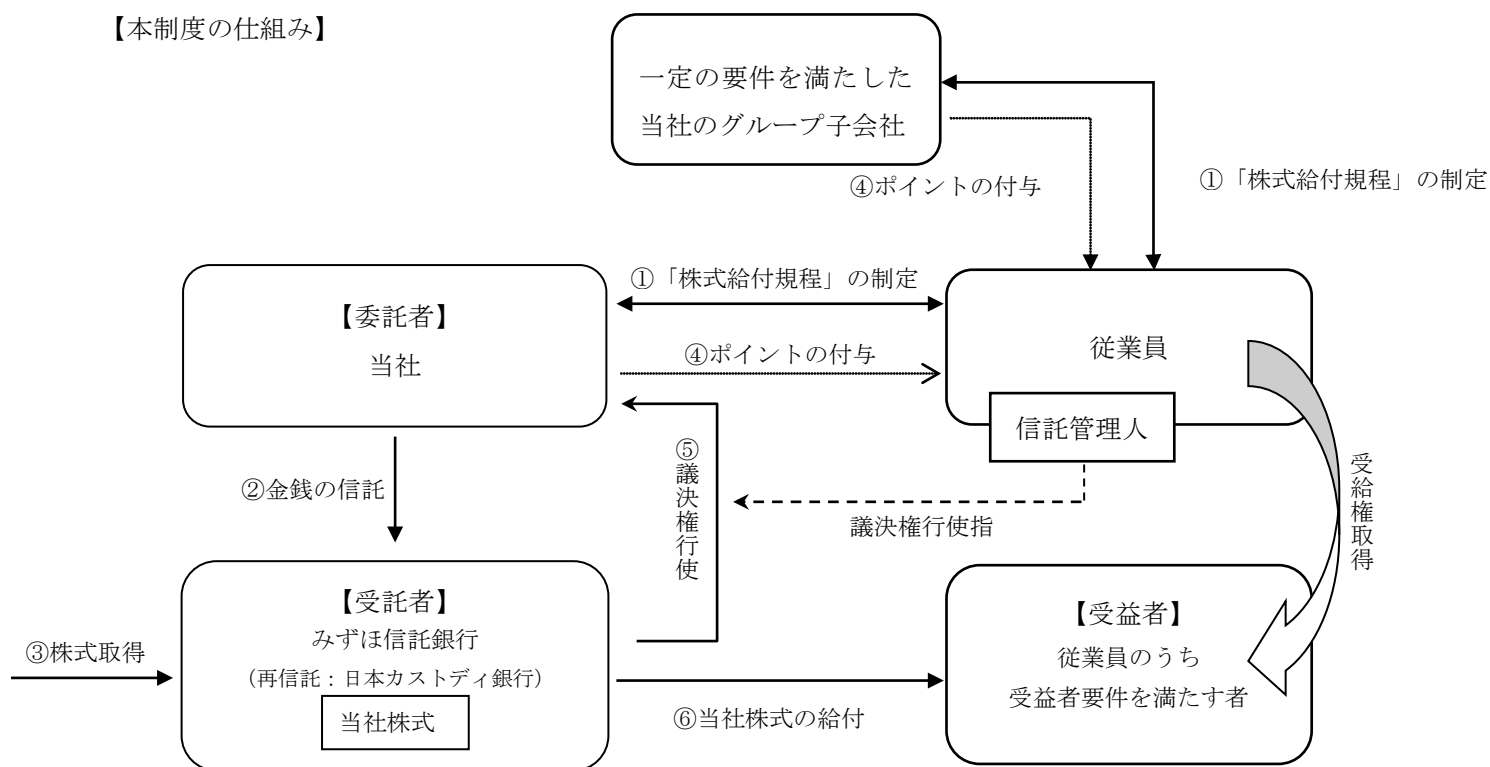
#### 2. 本制度の概要

本制度は、米国のESOP（Employee Stock Ownership Plan）制度を参考にした信託型のスキームであり、予め当社及び一定の要件を満たした当社のグループ子会社（以下、当社と併せて「対象会社」といいます。）が定めた株式給付規程に基づき、従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。

対象会社は、従業員に対し 2023 年度の当グループ連結業績等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

なお、本制度における信託の設定時期、金額等につきましては決定次第改めてお知らせいたします。

【本制度の仕組み】



- ① 対象会社は、本制度の導入に際し「株式給付規程」を制定します。
- ② 当社は、株式給付規程に基づき従業員に将来給付する株式を予め取得するために、みずほ信託銀行（再信託先：日本カストディ銀行）に金銭を信託（他益信託）します。
- ③ 本信託は、②で信託された金銭を原資として当社株式を、取引所市場を通じて又は当社の自己株式処分を引き受ける方法により取得します。
- ④ 対象会社は、株式給付規程に基づき従業員にポイントを付与します。
- ⑤ 本信託は、信託管理人の指図に基づき議決権を行使します。
- ⑥ 本信託は、従業員のうち株式給付規程に定める受益者要件を満たした者（以下「受益者」といいます。）に対して、当該受益者に付与されたポイント数に応じた当社株式を給付します。

以 上